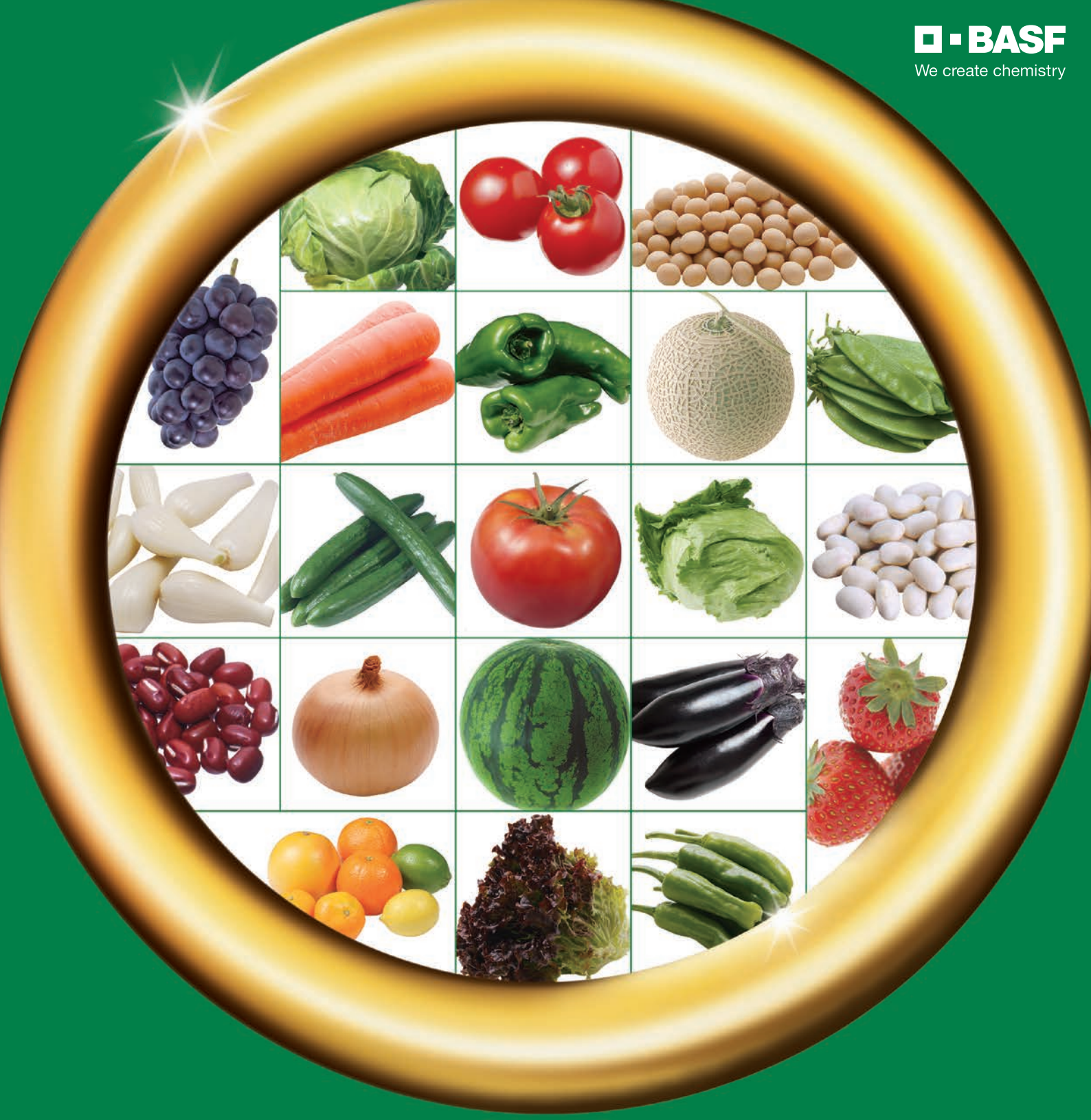
BASF
We create chemistry



灰色かび病・菌核病防除の進化した殺菌剤。

作物を守りぬくための
3つの約束

1. 胞子発芽をシャットアウト
2. 長くしっかりガード
3. 耐性菌にも打ち勝つ

殺菌剤

カンタス® ドライフロアブル

® =BASF社の登録商標

■適用作物・適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	灰色かび病	1500倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
大粒種ぶどう	灰色かび病 すす点病	1000～1500倍		収穫7日前まで			
小麦	眼紋病 New うどんこ病	1500倍	60～150ℓ/10a	収穫45日前まで	2回以内		2回以内
いちご	灰色かび病	1000～1500倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内		3回以内
トマト ミニトマト	灰色かび病 菌核病 葉かび病						
なす	灰色かび病 菌核病 すすかび病						
きゅうり	灰色かび病 菌核病						
	褐斑病	1500倍					
メロン すいか	菌核病	1000～1500倍					
にんじん	黒葉枯病 斑点病			収穫14日前まで			
レタス	灰色かび病 菌核病			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
非結球レタス				収穫14日前まで			
くきちしゃ				収穫7日前まで			
エンダイブ	菌核病	1500倍			1回		1回
トレビス					2回以内		2回以内
キャベツ	菌核病 株腐病 黒斑病						
New なばな類	菌核病				1回		1回
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病	1000～1500倍		収穫前日まで	3回以内		4回以内 （定植前は1回以内、定植後は3回以内）
	小菌核病	1500倍					
豆類 （種実、但し、らっかせい、あずき、いんげんまめを除く）	菌核病			収穫7日前まで			3回以内
あずき	灰色かび病 菌核病	1000～1500倍					
	さび病	1500倍					
いんげんまめ	灰色かび病 菌核病	1000～1500倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内
さやいんげん				収穫前日まで	3回以内		3回以内
未成熟そらまめ	赤色斑点病 さび病	1000倍					
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病				2回以内		2回以内
ブロッコリー	菌核病	1500倍		収穫7日前まで			
らっきょう	灰色かび病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
ピーマン	灰色かび病 黒枯病	1000～1500倍			2回以内		2回以内
とうがらし類							
食用ぎく	灰色かび病	1000倍		収穫7日前まで			
プンタレッラ		1500倍		収穫3日前まで			

⚠ 効果・薬害等の注意

○散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
○薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
○きゅうりに使用する場合、高温条件や散布後急激に乾燥すると葉焼けや日焼け果の発生を助長するおそれがあるので注意してください。
○果菜類、ぶどうに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤や葉面液肥を加用すると薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。
○みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
○本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
○適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

○本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
○散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
○かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

⚠ 貯蔵上の注意

○直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

このチラシの記載内容は
2022年6月現在のものです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●小児の手の届く所には置かないでください。
●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください
●防除日誌を記帳しましょう。

BASFジャパン株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
0120-014-660　https://crop-protection.basf.co.jp/

詳細はWEBでもご覧いただけます。

7004005 7
202206